

2013年 4月1日 NO. 53



# イルカ通信

隔月 1 回発行  
バックナンバーは無料でダウンロードできます  
(下記参照)

## 「速報！！大型鯨類の骨が漂着」

2013年3月30日、鯨類の骨が海岸に漂着しているとの情報が寄せられました。翌31日の午前中に現場へ行くと、長さ1mほどにもなる肋骨や脊椎の一部、ヒゲ板などが現場に漂着していました。骨には肉片が付着していなかったことから、漂着してから月日がそれなりに経過しているものと思われます。

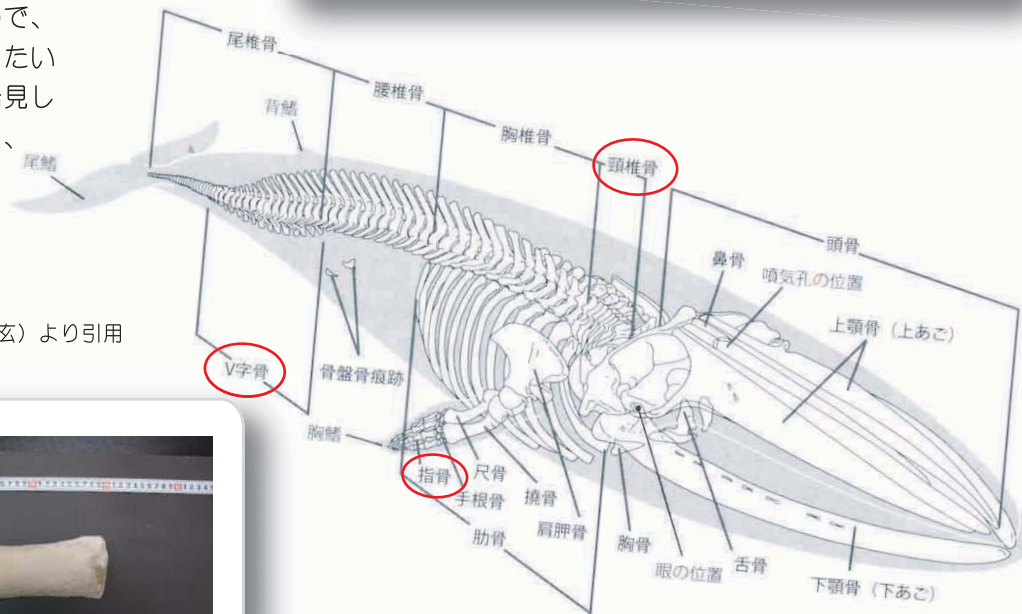
ヒゲ板が海岸に残っていたことから、ヒゲクジラ類であることは間違いありませんが、種を判定するものが無く、現在のところ種不明ヒゲクジラ類としています。下の図はシロナガスクジラの全身骨格図になりますが、この図にもある頸椎骨や指骨、V字骨などをサンプルとして採取しました。

事務所に戻ったあとはサンプルの処理と書類の作成が待っています。鯨類が漂着した場合やサンプルを採取した場合には、それぞれ関係機関に報告する必要があります。

採取した骨は、貴重なサンプルなので、今後のレクチャーなどに活用していきたいと考えています。また漂着した骨を発見した片や回収にご協力いただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

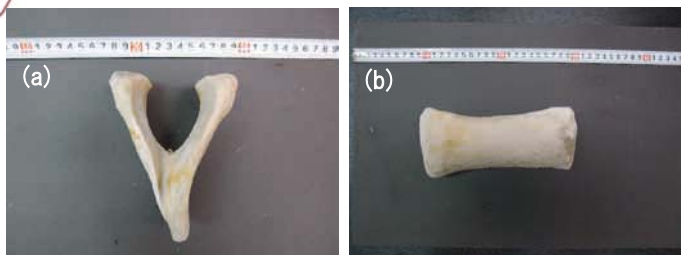


現場に漂着していた骨と漂着現場の写真



シロナガスクジラの全身骨格図

(鯨類海産哺乳類学 第二版、加藤秀弘・中村玄) より引用  
※赤丸で囲んだ骨の一部をサンプルとして採取



採取したサンプルの写真

- (a) V字骨
- (b) 指骨
- (c) ヒゲ板

鯨類の骨の特徴は、陸上の哺乳類の骨に比べて多孔質で、脂質が大量に蓄えられていることです。これは水中で浮力を得るためだと考えられていますが、骨を間近で見ると小さい穴が沢山あるのが確認できます。実物をご覧になりたい方は、OWA事務所までお越し下さい。

なお、このような鯨類の漂着を発見した場合は、OWAまでご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。